

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成25年12月13日)

- 1 若桜町茗荷谷地内の落石防護網設置工事現場における死亡事故について
【道路企画課】……1ページ
- 2 『山陰近畿自動車道整備推進議員連盟』第2回総会の結果について
【道路企画課】……3ページ
- 3 橋津川水系河川整備計画について
【河川課】……5ページ
- 4 米子鬼太郎空港へのスカイマーク就航に伴う駐車場整備について
【空港港湾課】……7ページ
- 5 鳥取空港における航空機の新たな東側着陸経路の設定について
【空港港湾課】……8ページ
- 6 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【技術企画課・道路建設課】……10ページ

県土整備部

若桜町茗荷谷地内の落石防護網設置工事現場における死亡事故について

平成 25 年 12 月 13 日
道 路 企 画 課

12月9日(月)午後4時55分ごろ、八頭郡若桜町茗荷谷^{みょうがだに}地内の落石防護網設置工事現場で発生した死亡事故について報告します。

1 事故の状況

午後4時55分ごろ、八頭郡若桜町茗荷谷地内の落石防護網設置工事現場において、男性作業員(41歳)が防護網設置のため支柱(H鋼)に固定した単管パイプを足場にして作業していたところ、単管パイプが傾き足を滑らせ地面に落下した。(高さ約13m)。

転落時点では意識があり、県立中央病院に搬送されたが、同日午後9時30分に死亡が確認された。

なお、詳細については、現在調査中である。

2 工事の概要

(1) 工 事 の 目 的 道路に面した斜面からの落石被害を防止し、道路利用者の安全確保を図るため、老朽化した落石防護網(L=30m, A=213㎡)を交換する。

(2) 工 事 箇 所 八頭郡若桜町茗荷谷地内

(3) 施 工 業 者 山陰建設株式会社(八頭町宮谷263-11 代表取締役社長 上田 俊一)

※当該路線に係る年間を通した維持工事業者

(年間維持工事の概要)

①工 事 名 国道482号外道路維持工事(2工区)

②工事場所 八頭郡若桜町香田外

③工 期 平成25年4月1日~平成26年3月25日

④契約金額 49,569,450円

(4) 当日の作業内容 事故当事者を含む8名(現場代理人1名、作業員4名、クレーン運転手1名、交通誘導員2名)で落石防護網の設置作業を実施。事故当時、作業員4名のうち、事故当事者を含む2名が斜面上部で金網を取り付ける作業を行っていた。

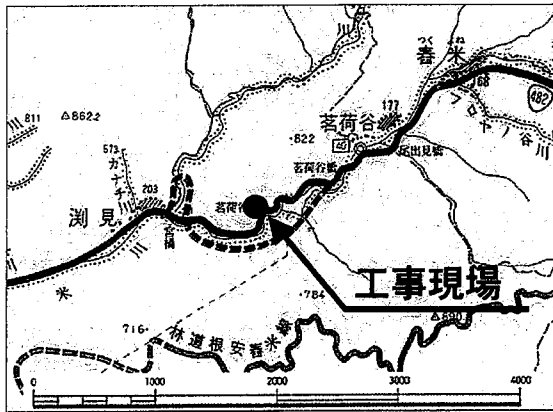
3 今後の対応

事故の詳細原因は警察、労働基準監督署等が調査中であるが、県では再発防止を目的として以下の取組みを行う。

(1) 現在施工中の全ての工事現場について、受注者へ安全対策の確実な実施等に関する指示書を発出し、さらに法面工事等の高所作業を行う現場については、労働基準監督署及び一般社団法人鳥取県建設業協会と合同で安全点検を実施し、安全管理の徹底を図る。

(2) 労働基準監督署の職員を講師に招き、発注者及び受注者を対象とした安全管理講習会を実施する。

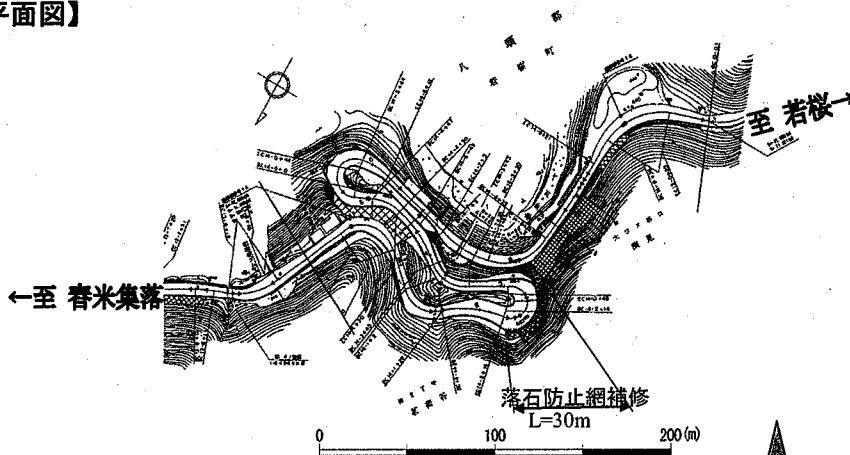
【現場位置図】



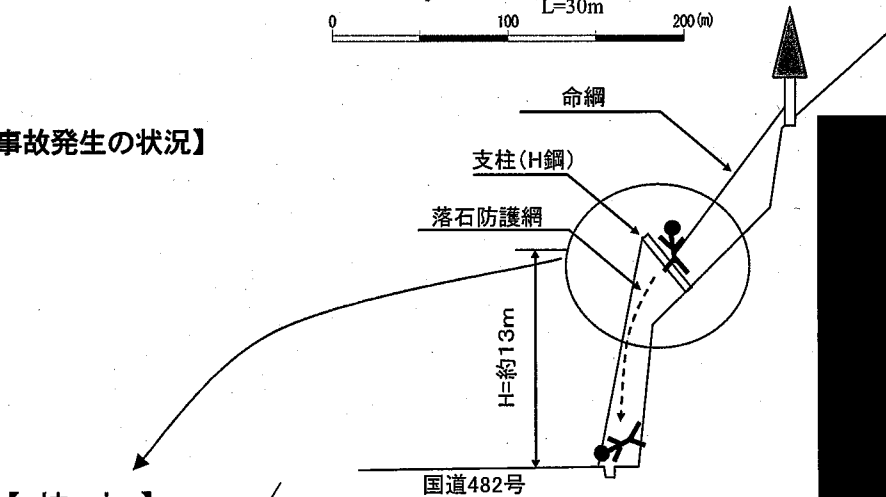
【現地状況写真】



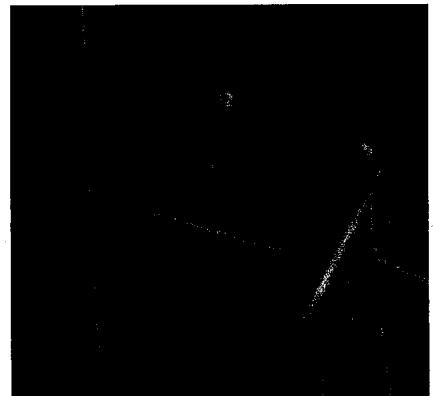
【平面図】



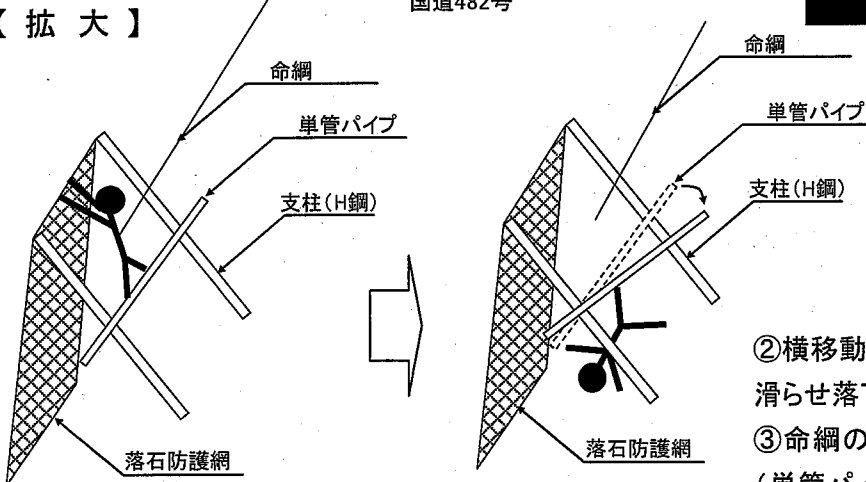
【事故発生の状況】



現地作業状況



【拡大】



①単管パイプを足場に落石防護網を設置していた。

②横移動する際、単管パイプが傾き足を滑らせ落下。

③命綱の取付け状況については不明。(単管パイプの固定方法・命綱の取付け方法に問題があったと考えられる。)

『山陰近畿自動車道整備推進議員連盟』第2回総会の結果について

平成 25 年 12 月 13 日
道 路 企 画 課

平成 26 年度予算編成に向けて『山陰近畿自動車道』の早期整備を訴えるため、今年 4 月に設立された『山陰近畿自動車道整備推進議員連盟』（会長：石破自民党幹事長）の第 2 回総会が、11 月 28 日に参議院議員会館で開催されました。

1 出席国会議員

選出府県	議員名
鳥取県	石破自民党幹事長、赤澤衆議院議員、舞立参議院議員
兵庫県	谷復興副大臣、藤井衆議院議員、濱村衆議院議員、鴻池参議院議員 末松参議院議員、盛山衆議院議員、大串衆議院議員
京都府	田中衆議院議員、二之湯参議院議員

2 主な発言

発言者	発言要旨
石破 茂 自由民主党幹事長	未事業化区間を早く事業化しないと、道路ができる前に沿線地域が無くなってしまふことすらあり得る。 直轄で整備できるのか、また、そのためにはどうすればよいか、議連の先生方とも相談しながら、危機感を持って取り組んで参りたい。
赤澤 亮正 衆議院議員	財務省は、経済諮問会議の民間委員の論を借りて、平成 25 年度補正予算があるので、平成 26 年度当初予算の公共事業費は前年度以下にすることを目論んでいるようだが、とんでもない話である。平成 26 年度当初予算で公共事業費を十分確保できるよう、応援していただきたい。
舞立 昇治 参議院議員	11 月 20 日の経済諮問会議で、公共事業費削減の議論が出ているが、道路等の社会資本の整備は、成長に繋がり、地域の安全・安心を確保するために非常に重要なものであり、しっかりと必要な予算の確保に対応して参りたい。
山田 啓二 京都府知事	平成 26 年度の概算要求資料等において、山陰近畿自動車道が図示されているが、具体的な位置付けや計画が分からない。 北近畿地方の道路網については、平成 21 年度（谷垣国土交通大臣時代）から既に 5 年もの間、直轄で調査を実施してきており、そろそろ国が整備をする路線として結論を出していただきたい。
井戸 敏三 兵庫県知事	鳥取～豊岡間は既存の道路のバイパス整備で、一方、豊岡～宮津間については直轄方式で整備を図るのが一番現実的な対応であり、具体的な手法を決めていく段階になっていると考えている。
林 昭男 鳥取県副知事	山陰近畿自動車道が整備されれば、山陰地方と北近畿地方が一体となった大周遊ルートが形成されるだけでなく、防災面や医療面においても大きな効果が期待される。 また、鳥取県内で未指定区間となっている山陰道～鳥取市福部町間については、是非とも直轄で整備して頂きたい。
徳山 日出男 国土交通省道路局長	東日本大震災時に東北地方整備局長であった自身の経験を通して、高規格道路が繋がっていることの重要性を、これまで命がけて説明してきただろうかと自問自答している。 高規格道路の「命の道」としての重要性が、改めて認められているところであり、繋がってこそ初めて役に立つと、繋がってなければ意味がないということを申し上げていきたい。

山陰近畿自動車道の整備状況 平成25年4月1日現在

山陰近畿自動車道 L=約120km

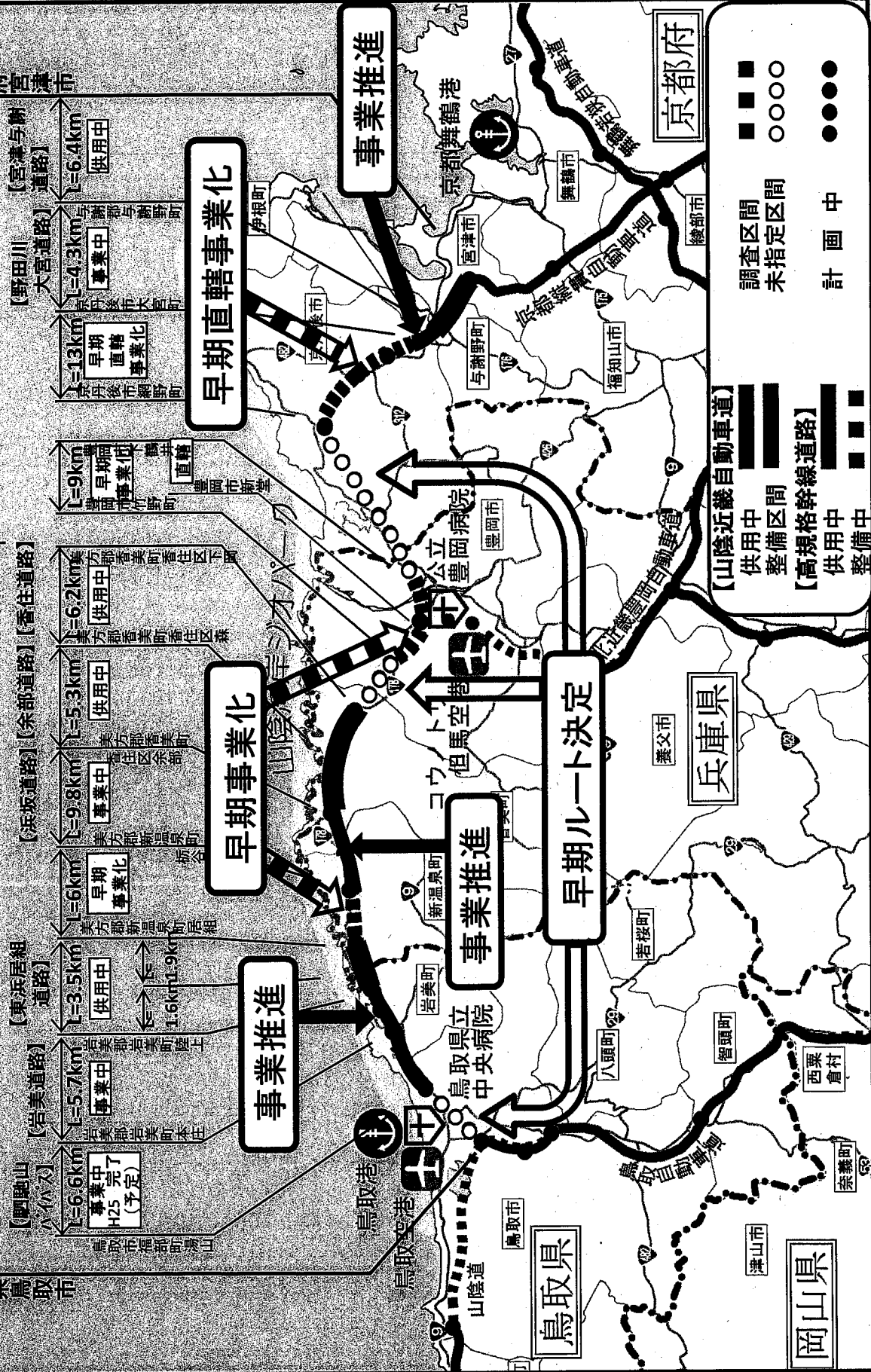
京都府内 約44km

兵庫県内 約46km

鳥取県内 約30km

起 鳥取県鳥取市

(終) 京都府宮津市



【山陰近畿自動車道】

- 供用中 (Solid line)
- 整備区間 (Dashed line)
- 【高規格幹線道路】
- 供用中 (Thick solid line)
- 整備中 (Thick dashed line)

調査区間 (Solid square)

未指定区間 (Open circle)

計画 中 (Solid circle)

橋津川水系河川整備計画について

平成25年12月13日
河 川 課

平成23年9月台風で床上浸水の被害を受けた東郷池周辺の治水対策を図るため、橋津川水系河川整備計画の策定を進めてきましたが、その概要等について、次のとおり報告します。

[河川整備計画策定に当たっての考え方]

- 東郷池周辺の景観や観光資源など地域の魅力を活かせるよう、湖岸堤の高さや構造、整備区間に配慮する計画とした。
- 有識者を含む独自の検討会や、住民、旅館組合との意見交換会などを開催し、地域との合意形成を図った。

1 河川整備計画の概要

- (1) 湖岸堤の整備高は、平成23年9月台風に対応する高さで、T.P.*+1.5mとする。

※T.P.:日本水準原点で、東京湾平均海面をさす。

- [河川整備基本方針]
- ・50年に1度の確率で発生する洪水に対応(昭和62年10月台風19号)
 - ・湖岸堤の整備する高さはT.P.+1.8m

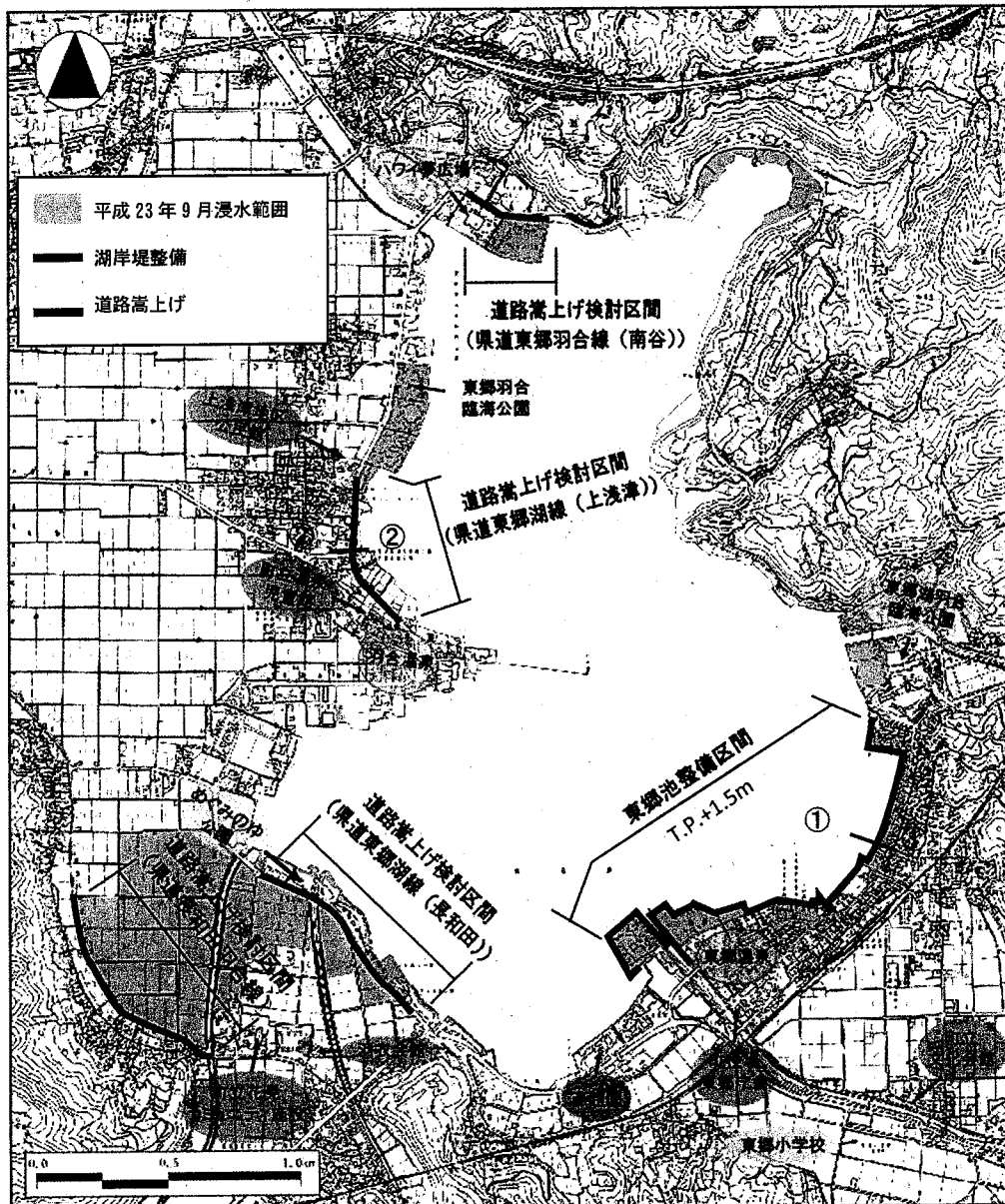
- (2) 基本的に盛土構造とし、現地盤から50~80cm程度の嵩上げとなる。
- (3) 湖岸堤の整備箇所は、家屋浸水が発生した松崎地区(約2.3km)とする。
- (4) なお、その他の地区は当面は道路事業により県道を嵩上げし、避難路を確保する。(4路線)
- (5) 整備期間は10年としているが、早期完了に努める。

※河川整備基本方針：河川整備の長期的な目標(将来計画)を定めるもの
河川整備計画：中期的(概ね20~30年)な整備目標を定めるもの

2 計画策定の経過

- 東郷池河川整備計画検討会の開催(平成23年11月から計5回開催)
 - ・地域住民とともに、ワークショップを開催し、課題の抽出、治水対策案等を検討。
- 東郷池周辺の旅館組合等との意見交換会(平成24年7月~8月、平成25年1月)
 - ・湖岸堤整備の希望があったのは、今回浸水被害のあった東郷温泉のみ。(1m程度まで嵩上)
 - ・はわい温泉は既に地上げで対応しているところもあり、湖岸堤防整備の希望はなかった。
- 松崎、長和田、上浅津、南谷の4地区に対する意見交換会(平成24年8月、平成25年2月)
 - ・景観に配慮するため、床上浸水のあった松崎地区のみの堤防嵩上げで良い旨の発言あり。
 - その他の地区からは、避難路確保のための道路嵩上げの希望があった。
- その他意見募集(アンケート：平成25年2月、パブリックコメント：平成25年9月を実施)
(主な意見)
 - ・東郷川右岸の湖岸堤を高くしてほしい。
 - ・避難経路確保のために、浸水していた東郷池周辺道路の嵩上げは必要。
 - ・避難態勢の強化等のソフト対策の充実を望む。等

[湖岸堤整備・道路嵩上げ予定箇所]



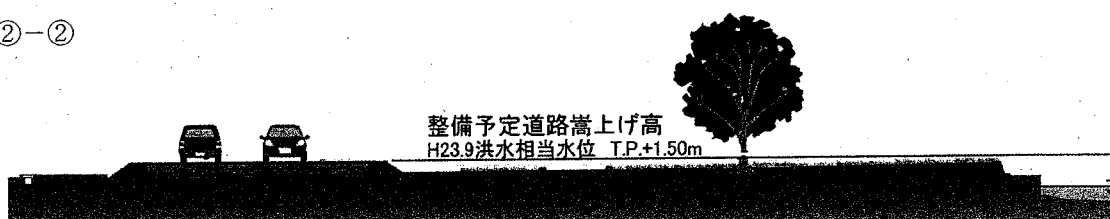
【湖岸堤整備イメージ】

①-①



【道路嵩上げイメージ】

②-②



米子鬼太郎空港へのスカイマーク就航に伴う駐車場整備について

平成25年12月13日
空 港 港 湾 課

米子鬼太郎空港におけるスカイマーク就航に伴う駐車場整備の概要は次のとおりです。

1 空港駐車場の現状と今回増設する駐車場

現 状		今回増設する駐車場	
・空港ビル前	556台	・旧県道敷	143台
・P1(サントピア)	75台	・三日月地	126台
・P2(幸神体育館)	51台		
〔平成24年度において満車日87日など 駐車場が不足。〕			
小 計	682台	小 計	269台
計		951台	

2 駐車場増設の経緯

- ・9月18日に、スカイマーク社が米子鬼太郎空港への新規就航計画を発表した。
- ・10月上旬の地域振興県土警察常任委員会及び高速交通網調査特別委員会で、新規就航に係る準備状況を報告し、駐車場の不足が懸念されることから、空港周辺の県有地を第1候補として駐車場の増設について検討していることを説明した。
- ・その後、12月20日の就航までに駐車場増設を間に合わせる方策を検討した結果、道路敷の有効活用の一環であり、最低限必要な整備等は既定経費（空港費及び道路維持修繕費）の中で対応と整理し、12月20日以降で間に合うものは11月補正予算で提案した。

【米子空港増設駐車場整備の経費内訳】

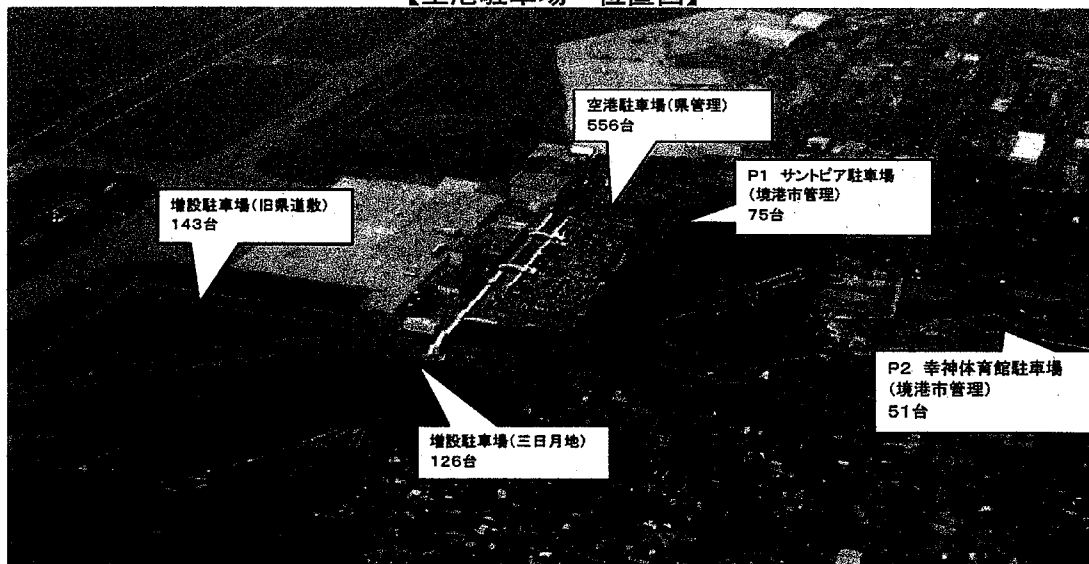
(単位：千円)

内 容		経 費	備 考
既定経費	測量設計	2,793	空港費
		967	空港費
	工事	43,815	道路維持修繕費
	維持管理	10,133	空港費・道路維持修繕費
	小 計	57,708	
11月補正	工事等	12,000	空港費
	(案内標識) 案内標識設置(空港～駐車場)	6,040	空港費
	維持管理	2,460	空港費
	将来計画予備設計	2,000	空港費
小 計	22,500		
合 計		80,208	

3 今後の取組み

- ・空港利用者の利便性向上のため、案内誘導の看板設置等を行う。
(看板設置までは警備員による案内誘導で対応する予定)
- ・空港アクセスとして、鉄道・バス等の公共交通機関の利用促進も図っていきたい。
- ・航空需要の動向、公共交通機関の利用促進、駐車場の混雑状況を見ながら、将来計画や当面の対応について検討していく。

【空港駐車場 位置図】



鳥取空港における航空機の新たな東側着陸経路の設定について

平成25年12月13日
空 港 港 湾 課

鳥取空港において、12月から航空機の新たな東側着陸経路が設定されました。これにより冬季の就航率向上が期待されます。

1 鳥取空港の現状

- ・鳥取空港では冬季の降雪時に視界不良による欠航が多いため、就航率の改善は喫緊の課題となっている。
- ・冬季の西風時には、空港周辺を旋回し東（鳥取砂丘）側から滑走路を目視で確認しながら着陸せざるを得ない。計器着陸装置（ILS）による着陸よりもさらに良好な視界条件が必要となり、冬季の欠航に繋がっている。
- ・なお、東側からの計器着陸装置（ILS）による直線進入は、航空機の飛行経路に山麓などがあり設定できない空域となっている。

<参考：鳥取空港の就航率の推移>

(単位：便)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
欠航便数（通年）	44	52	52	91	56
冬季欠航便数（12～3月）	35	41	46	59	33
就航率（12～3月）	96.4%	95.8%	95.2%	94.0%	96.6%

2 新たな着陸経路の概要

- ・着陸の15～50秒（直線経路）以前は、任意の経路（曲線など）設定が可能である。
- ・航空機に搭載されたGPS機能等により自機の位置を確認することができ、滑走路直前まで曲がりながら進入できる。

※RNAV（Area Navigation）進入とは、GPSを含めた電波を利用して自機位置を測位し飛行コースを設定して飛行できる航法。新しいRNAV進入は、航空機の性能アップなどの技術革新により、従来航法よりも経路幅を狭くできる。



3 鳥取空港で期待される効果等

- 天候不良時の経路短縮や就航率の改善に効果がある。
 - ①新たな着陸経路の使用割合は年間約19%と推定
 - ②進入時の限界高度及び最低気象条件が緩和される。
(進入時の限界高度：計器飛行により降下することができる最低の高度)
 - ③昨年度の悪天候による欠航22便のうち、約6割は着陸可能となる。
- 新たな着陸経路を飛行できる機種（B737-800型）が現在のところ東京便4往復のうち3往復運航中である。

鳥取空港に新たな東側着陸経路が設定されます

○現在の鳥取空港着陸経路

- ①空港上空を通過し西側から計器飛行により進入しそのまま着陸する経路
- ②西風の強い時、①と同様に西側から進入し、滑走路を目標により確認しながら東側に回りこんで着陸する経路の2ルートが設定されています。

○本年12月以降は、新たに西風の強い時に使用できる東側から着陸する経路③が加わり3ルートが設定されます。
 ※東側着陸経路は②、③の2ルートとなります

ルート①：現在の西側着陸経路

ルート②：現在の東側着陸経路

ルート③：12月以降に加わる新たな東側着陸経路
 東側の着陸割合は、過去3年平均で年間約19%（約270回）

○新たな東側着陸経路③の特徴

- ・航空機に搭載されたGPS機能等により曲線進入が可能となり、障害地形を避けた飛行経路が設定可能となりました。
- ・進入時の限界高度及び最低気象条件が緩和され、天候不良時の経路短縮や就航率の改善等に効果があります。
- ・飛行する対象機種は、B737-800型機となります。

新たな東側着陸経路③
 兵庫県美方郡香美町香住区を通過し、駈馳山沖の日本海から福部町湯山上空を通過し鳥取空港に着陸する経路

日本海

福部町湯山上空
 飛行高度 約400m

障害地形

①鳥取空港

平成25年10月27日～平成26年1月6日 鳥取空港時刻表

到着便4便のうち3便が対象機種

東京発 ⇒ 鳥取着	鳥取発 ⇒ 東京着	機種
06:40 ⇒ 08:00 (293便)	07:05 ⇒ 08:15 (292便)	B737-800
10:45 ⇒ 12:05 (295便)	08:40 ⇒ 09:50 (294便)	B737-800
15:55 ⇒ 17:20 (297便)	12:45 ⇒ 13:55 (296便)	B737-800
19:30 ⇒ 20:55 (299便)	18:15 ⇒ 19:30 (298便)	A320
		B737-800

←東京から

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	県土整備部 摘 要
技術企画課 〔西部総合事務所〕 〔米子県土整備局〕	阿弥陀川砂防災害復旧工事(23年災227号)(2工区)	西伯郡 大山町 坊領	(株)特研工業 代表取締役 谷口 博	115,185,000円 (予定価格) 127,241,100円	平成25年11月22日 ~ 平成26年3月14日	平成25年11月21日	制限付 一般競争入札 (6社)

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	県土整備部 摘 要
技術企画課 〔西部総合事務所〕 〔米子県土整備局〕	阿弥陀川砂防災害復旧工事(23年災227号)(本堤工)	西伯郡 大山町 坊領	(株)大協組 代表取締役 小山 典久	(当初契約額) 179,025,000円 (第1回変更後契約額) 200,734,800円 (変更額) 〔 21,709,800円〕 (第2回変更後契約額) 201,986,400円 (変更額) 〔 1,251,600円〕	平成24年12月28日 ~ 平成25年7月31日 (変更後工期) 平成25年11月30日	(当初契約年月日) 平成24年12月27日 (第1回変更契約年月日) 平成25年7月16日 (第2回変更契約年月日) 平成25年11月8日	
道路建設課 〔西部総合事務所〕 〔米子県土整備局〕	国道180号(南部バイパス)改良工事(7工区)(社会交付金)	西伯郡 南部町 境	(有)平井工業 代表取締役 平井 茂晃	(当初契約額) 90,615,000円 (第1回変更後契約額) 101,310,300円 (変更額) 〔 10,695,300円〕 (第2回変更後契約額) 101,310,300円 (変更額) 〔 0円〕 (第3回変更後契約額) 101,269,350円 (変更額) 〔 Δ40,950円〕	平成25年3月1日 ~ 平成25年10月13日 (変更後工期) 平成25年11月30日	(当初契約年月日) 平成25年2月28日 (第1回変更契約年月日) 平成25年7月25日 (第2回変更契約年月日) 平成25年10月2日 (第3回変更契約年月日) 平成25年11月28日	